

# 24年度 パドラーズトピックスー2

## 2月26日・「仮説住宅おじゃま隊(お茶のみ会)」



今回は仮設でのお茶飲み会と「② 行って見て被災地復興応援団」の気仙沼班と同時に2班に分かれて行われました。

AM6:00に秋田出発し、高田班は20名、気仙沼班は18名総勢38名でした。三内のパーキングで全員顔合わせと注意点などの説明を受けてそれぞれ目的地に向かいました。

陸前高田第一高等学校仮設住宅(100世帯)に秋田漫才とギター演奏を楽しんでもらいながらのお茶飲み会班は陸前高田に10:45分頃に着いて、すぐに仮設住宅の集会場で秋田漫才をお願いしましたが、仕度が整う間、菅原厚子さんから本業の観光案内役の経験を

生かして、二人を紹介してもらいながら楽しいおしゃべりを急遽アドリブで話すなど、間を取り持ってもらいましたが、これが大変受けて皆さんの気持ちが少し打ち解けたようでした。



才蔵役の北条貞次郎、太夫役の平川金一さんの意気の会った漫才を見てもらいましたが、当初秋田弁が難しいので分かってもらえるのか心配しましたが、仮設の皆さんが写真のように大きな声で笑っていました。あとで聞いたら所々しか分らなかったけど、充分理解し楽しんで、「久々に笑えた」と喜んでいました。



昼食は東京の築地のふぐ組合さんが、ふぐのから揚げやふぐ汁の炊き出しがあり、私たちもご馳走になりました。私は他の用事があり食べることが出来ませんでした、とても美味しかったです。

午後からはギター演奏の「川崎ツトム」さんの登場です。

私が昨年4月に最初に陸前高田第一中学校の避難所の体育館で演奏をお願いしてから、川崎さんは被災地に行き、皆さんに自分のギターで喜んでもらうことが私の仕事だと、そのときにそう思ったそうです。それ以来各地の避難所を廻り演奏した回数は60回を越えたそうです。集まってくれた30名ほどの方々が涙して喜んでくださる姿がそこにありました。ギター一本での川崎さんなりの支援の仕方がそこにあり、ギター演奏のほかに、得意ではない歌もリクエストされることもあり、何曲か歌を練習して披露したところ多くの方から喜んでもらえることがうれしかったそうです。「懐メロや演歌」などのレパートリーを増やすことで、また岩手の名曲「北国の春」がいかにか「心の歌」として支援されているのかも分かったそうです。この歌を仮設の皆さんが涙ぐみながら口ずさみ、思いを歌にし、心が一つになっていきました。

震災後今日、はじめて歌う気になれました。と川崎さんに握手を求める方もいました。川崎さんはもともとエレキバンドでギターをプロとして活動し、さとう宗幸、葛城ユキの後期バンドでギターを担当してきた方ですが、これからは被災地支援としてのこの形で行うと決めたようです。このような行動はマスコミからも注目されてはいないかもしれませんが、支援は自分で出来る範囲ですという姿勢が多くの方から共感を得ていて、「また来てください」と行く度に声がかかるようです。多くのミュージシャンが各地で支援していますが、60回以上も継続的に支援をしている方はそういないではないかと思えます。心から敬服いたします。私たちも応援して行きたいと思いました。



その後皆さんとお茶飲み会をしました。今回は国際ソロプチミスト秋田さんから協力していただいて、お茶やお菓子、漬物など用意してもらいました。また団体から声をかけていただいたボランティアに興味のある高校生も6名参加して

被災された方々の生の声を聞いて多くのことを学んだようです。集会場の中は30畳ぐらいで、3グループに分けてそれぞれ皆さんからお話を聞くようにしました。多くのことを孫に話すように丁寧に話してくれたことが印象的でした。



- 朝、目を覚ますと今日も生きてたんだ。生きなければと思うそうです。
- 一人暮らしなので、TVしかないのも、同じ仮設でも周りとは話す機会がない。今日久々に多くの方と話せてうれしい。出来るだけこのような機会があれば積極的に参加したい。また来て。
- ガレキ、ガレキというけどあれは私たちの財産です。そこに今不法投棄する方がいて、「真新しいごみ」として投げられていきます。地元の人か他県の人か分からないが、少なくとも被災者は捨てるだけのゴミを

持っていないということです。「本当に悲しい」まして私たちの財産と一緒にするのです。

- ニュースで被災地のゴミ処理の問題で「受け入れる」、「受け入れない」と話題になっていますが、私達は、自分たちの財産を望んでガレキにしたわけでもないのに、もし受け入れることで、皆様に迷惑を掛けるなら私達は我慢するでしょう。でも、もし秋田で同じようになれば、私達は誰も反対をしないと思います。胸を張って喜んで受け入れるでしょう。震災から一年になるこの時期に皆さんがどんな思いでいるのかなど、お話を聞いて、本当に多くのことを知り、学ぶこともたくさんありました。